



平成 25 年 9 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成 25 年 8 月 8 日

上場会社名 株式会社ドワンゴ 上場取引所 東
 コード番号 3715 URL <http://info.dwango.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 荒木 隆司
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員コーポレート本部長 (氏名) 小松 百合弥 (TEL) 03 (3549) 6300
 四半期報告書提出予定日 平成 25 年 8 月 9 日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成 25 年 9 月期第 3 四半期の連結業績 (平成 24 年 10 月 1 日～平成 25 年 6 月 30 日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25 年 9 月期第 3 四半期	26,555	△1.3	1,882	155.7	2,004	186.8	1,997	—
24 年 9 月期第 3 四半期	26,916	2.3	736	△62.0	698	△61.8	△220	—

(注) 包括利益 25 年 9 月期第 3 四半期 2,439 百万円 (—%) 24 年 9 月期第 3 四半期 △359 百万円 (—%)

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25 年 9 月期第 3 四半期	9,791.81	—
24 年 9 月期第 3 四半期	△1,103.64	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1 株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25 年 9 月期第 3 四半期	26,278	20,277	77.0	99,211.02
24 年 9 月期	24,653	18,260	73.9	89,299.35

(参考) 自己資本 25 年 9 月期第 3 四半期 20,239 百万円 24 年 9 月期 18,217 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24 年 9 月期	—	0.00	—	2,000.00	2,000.00
25 年 9 月期	—	0.00	—		
25 年 9 月期(予想)				2,000.00	2,000.00

(注) 1. 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成 25 年 9 月期の連結業績予想 (平成 24 年 10 月 1 日～平成 25 年 9 月 30 日)

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	37,500	3.5	2,000	47.8	2,000	55.9	2,300	—	11,274.01

(注) 1. 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2. 通期の業績予想の詳細は四半期決算短信(添付資料)3ページ

「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無
新規 — 社 (社名) 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計処理の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年9月期3Q	204,052株	24年9月期	204,052株
25年9月期3Q	43株	24年9月期	43株
25年9月期3Q	204,009株	24年9月期3Q	199,698株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものです。予想には様々な不確実性が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合がありますので、この業績予想に全面的に依拠して投資等の判断を行うことは差し控えてください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 継続企業の前提に関する注記	12
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12
(6) セグメント情報等	12
(7) 重要な後発事象	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成24年10月1日～平成25年6月30日）における我が国経済は、新政権による経済政策や日本銀行による金融緩和政策などにより、円安・株高が進み消費マインドや企業収益に改善の動きが見られるなど、景気回復への明るい兆しが見え始めております。

当社グループ（当社、連結子会社及び持分法適用会社）を取り巻く環境は、スマートフォンの普及が進み、様々なタブレット端末が発売され、通信機能を備えたデバイスの進化と多様化が進んでおります。それに伴い、新たなアプリやサービスが次々と登場し、スマートフォン関連の市場は拡大しております。

さらに、SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）、動画配信サービス、電子書籍などの利用も拡大しております。

この様な環境の中、当社グループにおきましては、ネットワークを通じた新しいコミュニケーション手段を提供すべく、ネットワークエンタテインメントサービス・コンテンツを携帯電話、スマートフォン、PC、家庭用ゲームソフト市場などで事業展開してまいりました。

事業セグメント別の業績は以下のとおりであります。

ポータル事業においては、ニコニコ生放送で、4月27日、28日に幕張メッセで開催された「ニコニコ超会議2」にネットから509万人のユーザが視聴しました。また、地上波メディアとの連携を強化したドラマの先行試写会やボーカロイド歌謡祭、バラエティ番組などを放送しました。さらに、昨年11月に開催したネット初の衆議院選挙の党首討論会に続き、ニコファーレを会場に参院選では全てのメディアを通じて初となる党首討論会を開催しました。その他にも、5人の現役プロ棋士と5つの最強コンピュータ将棋ソフトが闘う、将棋戦「第2回将棋電王戦」を開催し、累計視聴者が230万人を超え大きな盛り上がりを見せた他、ニコニコ生放送ならではの多様な番組を放送しました。

これらの取り組みにより、平成25年6月末には登録会員数3,468万人、様々な特典が受けられる有料の「プレミアム会員」は200万人となりました。

収益面では、「プレミアム会員」が順調に増加しており売上に貢献しています。

以上の結果、ポータル事業の売上高は117億3百万円（前年同期比14.8%増）、セグメント利益（営業利益）は18億39百万円（前年同期比150.2%増）となりました。

モバイル事業においては、スマートフォンで高音質楽曲配信サービス「dwango.jp」に、最新シングルの独占先行配信だけでなく、niconicoの人気ボカロ楽曲など当サービスならではの楽曲を充実させ、サービス拡充に取り組みました。

また、これまでよりスマートフォン会員獲得のための広告宣伝費を絞り込んだことにより、会員数は微減となりました。

従来の携帯電話端末向けには、引き続き主力となる音楽系サイトの着うた®や着うたフル®を中心にユーザ満足度向上に努めました。しかしながら、スマートフォンへの移行の影響を受け、会員数は減少しました。

以上の結果、モバイル事業の売上高は102億53百万円（前年同期比5.2%減）、セグメント利益（営業利益）は13億73百万円（前年同期比28.2%減）となりました。

ゲーム事業においては、海外タイトルの国内版「テラリア」を発売し好調に推移しました。また、引き続き前期に発売した「スーパーダンガンロンパ2 さよなら絶望学園」のリピートオーダーが売上及び利益に貢献しました。しかしながら、パッケージソフトの大型ブランドタイトル数が前年同期に比べ少なかったことにより売上が減少しました。

以上の結果、ゲーム事業の売上高は27億23百万円（前年同期比36.7%減）、セグメント利益（営業利益）は2億6百万円（前年同期比43.8%減）となりました。

ライブ事業においては、4月27日、28日に幕張メッセで「ニコニコ超会議2」を開催し、延べ10万3千人の方が来場しました。ライブハウス「ニコファーレ」では、参院選では全てのメディアを通じて初となる党首討論会を開催した他、niconico関連のイベントやコンサート、ゲーム系イベントなどを開催した他、各種イベント向けにホールの貸出なども行いました。

以上の結果、ライブ事業の売上高は10億8百万円（前年同期比72.1%増）、セグメント損失（営業損失）は3億1百万円（前年同期は8億18百万円の損失）となりました。

その他事業においては、主にアニメ分野やniconicoから生まれたコンテンツのCDやDVDなどの音楽出版及び著作権利用料収入が売上に貢献しました。

以上の結果、その他事業の売上高は13億63百万円（前年同期比30.0%減）、セグメント損失（営業損失）は2億70

百万円（前年同期は2億61百万円の損失）となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高265億55百万円（前年同期比1.3%減）、営業利益18億82百万円（前年同期比155.7%増）、経常利益20億4百万円（前年同期比186.8%増）、四半期純利益は19億97百万円（前年同期は2億20百万円の損失）となりました。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期末の資産合計は262億78百万円（前期連結会計年度末より16億25百万円増）となりました。四半期純利益19億97百万円に伴う現金及び預金の増加などにより、資産が増加しました。

負債合計は、60億円（前期連結会計年度末より3億91百万円減）となりました。短期借入金の減少などにより、負債が減少しました。

純資産合計は、202億77百万円（前期連結会計年度末より20億16百万円増）となりました。四半期純利益19億97百万円に伴う利益剰余金の増加などにより、純資産が増加しました。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ3.1ポイント上昇の77.0%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ6億54百万円増加し、68億13百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益の増加などにより、前第3四半期連結累計期間と比べ10億29百万円増加し、28億8百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出の減少などにより、前第3四半期連結累計期間と比べ8億59百万円支出が減少し、15億7百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入れによる収入の減少などにより、前第3四半期連結累計期間と比べ、6億57百万円支出が増加し、6億47百万円の支出となりました。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

当社グループを取り巻く事業環境の変化は早く、それに伴い当社の業績も短期的に大きく変動することも想定されることから通期業績のみを開示することとしております。連結業績予想は当第3四半期連結累計期間まで順調に進捗しておりますが、第4四半期会計期間において、本社移転に伴う費用や広告宣伝費の増加等により売上原価及び販売費及び一般管理費が増加するため、平成24年11月14日発表の業績予想から、現時点では変更はありません。

(参考情報)

当第3四半期連結業績

[売上構成]

(金額：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間 (売上比)	当第3四半期 連結累計期間 (売上比)	前連結会計年度 (売上比)	主な変動要因
売上高	26,916	26,555	36,243	
ポータル事業	10,194 (37.9%)	11,703 (44.1%)	13,961 (38.5%)	niconicoのプレミアム会員数が増加したことによります。
モバイル事業	10,814 (40.2%)	10,253 (38.6%)	14,302 (39.5%)	月額会員制サイトの会員数が減少したことによります。
ゲーム事業	4,298 (16.0%)	2,723 (10.3%)	5,816 (16.0%)	パッケージゲームの大型タイトルが減少したことによります。
ライブ事業	586 (2.2%)	1,008 (3.8%)	653 (1.8%)	ニコニコ超会議2の協賛企業数が増加したことによります。
その他事業	1,947 (7.2%)	1,363 (5.1%)	2,693 (7.4%)	映像制作やデジタルコンテンツ事業がなくなったことによります。
消去又は全社	△923 (△3.4%)	△496 (△1.9%)	△1,183 (△3.3%)	

[売上原価主要科目]

(金額：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間 (売上比)	当第3四半期 連結累計期間 (売上比)	前連結会計年度 (売上比)	主な変動要因
売上原価	16,721 (62.1%)	14,995 (56.5%)	22,381 (61.8%)	
人件費	4,315 (16.0%)	4,307 (16.2%)	5,829 (16.1%)	
支払手数料	1,570 (5.8%)	1,730 (6.5%)	2,067 (5.7%)	niconicoのコンテンツ獲得が増加したことによります。
著作権等使用料	3,414 (12.7%)	2,849 (10.7%)	4,498 (12.4%)	着うた®・着うたフル®のダウンロードが減少したことによります。
外注費	4,338 (16.1%)	2,845 (10.7%)	5,383 (14.9%)	生放送制作費の減少及びパッケージゲームの大型タイトルが減少したことによります。
通信費	1,919 (7.1%)	2,061 (7.8%)	2,605 (7.2%)	niconicoの回線費用が増加したことによります。
その他	2,528 (9.4%)	2,402 (9.0%)	3,433 (9.5%)	
たな卸資産の増減	△365 (△1.4%)	△327 (△1.2%)	15 (0.0%)	
(他勘定振替)	△999 (△3.7%)	△875 (△3.3%)	△1,451 (△4.0%)	

〔販売費及び一般管理費主要科目〕

(金額：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間 (売上比)	当第3四半期 連結累計期間 (売上比)	前連結会計年度 (売上比)	主な変動要因
販売費及び 一般管理費	9,458 (35.1%)	9,677 (36.4%)	12,516 (34.5%)	
広告宣伝費	3,201 (11.9%)	3,646 (13.7%)	4,424 (12.2%)	上期においてモバイル事業の広告が増加したことによります。
人件費	1,883 (7.0%)	1,803 (6.8%)	2,464 (6.8%)	
支払手数料	2,602 (9.7%)	2,518 (9.5%)	3,375 (9.3%)	
研究開発費	306 (1.1%)	246 (0.9%)	426 (1.2%)	
その他	1,465 (5.4%)	1,462 (5.5%)	1,825 (5.0%)	

※当第3四半期連結会計期間末の従業員数(連結)は、941名となり、第2四半期連結会計期間末より24名減少しており、前連結会計年度末より91名減少しております。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,164,325	6,818,884
受取手形及び売掛金	6,333,152	6,160,133
商品及び製品	31,753	85,077
仕掛品	555,839	830,103
原材料及び貯蔵品	1,968	8,114
その他	1,676,096	2,021,778
貸倒引当金	△8,752	—
流動資産合計	14,754,383	15,924,091
固定資産		
有形固定資産	2,048,774	1,690,550
無形固定資産		
のれん	1,045,392	841,793
ソフトウェア	2,009,144	1,845,332
その他	28,654	11,608
無形固定資産合計	3,083,191	2,698,734
投資その他の資産		
投資有価証券	3,723,579	4,483,976
その他	1,241,230	1,702,854
貸倒引当金	△198,152	△221,702
投資その他の資産合計	4,766,657	5,965,129
固定資産合計	9,898,623	10,354,414
資産合計	24,653,007	26,278,505
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,920,634	1,740,965
短期借入金	206,416	—
未払法人税等	351,049	157,293
賞与引当金	526,837	377,397
ポイント引当金	30,812	68,251
資産除去債務	—	118,269
その他	2,967,716	3,065,898
流動負債合計	6,003,466	5,528,075
固定負債		
長期借入金	28,354	—
資産除去債務	315,174	197,865
その他	45,188	274,860
固定負債合計	388,716	472,725
負債合計	6,392,182	6,000,801

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,616,302	10,616,302
資本剰余金	9,497,345	9,076,827
利益剰余金	△1,893,765	116,351
自己株式	△5,636	△5,636
株主資本合計	18,214,245	19,803,844
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,726	434,413
為替換算調整勘定	△1,101	1,683
その他の包括利益累計額合計	3,625	436,097
少数株主持分	42,954	37,762
純資産合計	18,260,824	20,277,704
負債純資産合計	24,653,007	26,278,505

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年6月30日)
売上高	26,916,785	26,555,345
売上原価	16,721,574	14,995,410
売上総利益	10,195,210	11,559,934
販売費及び一般管理費	9,458,827	9,677,073
営業利益	736,383	1,882,861
営業外収益		
受取利息	3,246	1,792
受取配当金	27,700	36,100
持分法による投資利益	36,390	6,295
業務受託料	—	11,432
保険返戻金	—	12,223
投資事業組合運用益	—	24,339
その他	48,684	32,441
営業外収益合計	116,021	124,627
営業外費用		
支払利息	7,258	2,297
貸倒引当金繰入額	125,167	—
投資事業組合運用損	11,831	—
その他	9,226	422
営業外費用合計	153,485	2,719
経常利益	698,919	2,004,768
特別利益		
負ののれん発生益	132,142	—
関係会社株式売却益	2,100	4,476
特別利益合計	134,242	4,476
特別損失		
固定資産除却損	5,001	—
投資有価証券評価損	564,390	—
ゴルフ会員権評価損	—	5,810
事務所移転費用	19,121	—
その他	118	1,200
特別損失合計	588,631	7,010
税金等調整前四半期純利益	244,530	2,002,234
法人税、住民税及び事業税	253,748	275,760
法人税等調整額	116,021	△280,076
法人税等合計	369,769	△4,315
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△125,238	2,006,550
少数株主利益	95,155	8,932
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△220,394	1,997,617

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△125,238	2,006,550
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△234,674	429,686
為替換算調整勘定	451	2,818
その他の包括利益合計	△234,222	432,505
四半期包括利益	△359,460	2,439,056
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△454,622	2,430,089
少数株主に係る四半期包括利益	95,161	8,966

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成24年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年10月1日 至 平成25年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	244,530	2,002,234
減価償却費	1,235,233	1,575,879
のれん償却額	160,392	203,598
負ののれん発生益	△132,142	—
固定資産除却損	5,001	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△172,328	△145,715
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	121,879	15,567
受取利息及び受取配当金	△30,946	△37,892
支払利息	7,258	2,297
持分法による投資損益 (△は益)	△36,390	△6,295
投資事業組合運用損益 (△は益)	11,831	△24,339
投資有価証券評価損益 (△は益)	564,390	—
ゴルフ会員権評価損	—	5,810
関係会社株式売却損益 (△は益)	△2,100	△4,476
売上債権の増減額 (△は増加)	49,563	△46,814
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△6,651	△332,259
仕入債務の増減額 (△は減少)	△12,463	8,791
未払金の増減額 (△は減少)	229,533	△95,985
その他	△201,203	98,701
小計	2,035,388	3,219,101
利息及び配当金の受取額	30,946	57,412
利息の支払額	△7,027	△2,297
法人税等の支払額	△280,205	△465,516
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,779,100	2,808,700
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△5,000	—
定期預金の払戻による収入	200,000	—
有形固定資産の取得による支出	△1,174,180	△426,625
無形固定資産の取得による支出	△896,676	△613,296
投資有価証券の取得による支出	△149,900	△37,500
投資有価証券の売却による収入	10,000	50,500
子会社株式の取得による支出	△318,394	—
関係会社株式の売却による収入	17,100	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	※2 △116,749
貸付けによる支出	△11,130	—
貸付金の回収による収入	3,786	136,750
ゴルフ会員権の取得による支出	—	△39,731
差入保証金の差入による支出	—	△543,217
差入保証金の回収による収入	—	72,137
その他	△41,911	10,662
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,366,306	△1,507,069

(単位：千円)

	前第3 四半期連結累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成24年6月30日)	当第3 四半期連結累計期間 (自 平成24年10月1日 至 平成25年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△1,380,000	△685,000
短期借入れによる収入	3,330,000	600,000
長期借入金の返済による支出	△136,062	△149,770
リース債務の返済による支出	△2,976	△3,842
自己株式の処分による収入	200	—
自己株式の取得による支出	△1,390,989	—
配当金の支払額	△409,576	△408,460
財務活動によるキャッシュ・フロー	10,596	△647,072
現金及び現金同等物に係る換算差額	△804	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△577,412	654,558
現金及び現金同等物の期首残高	6,997,631	6,159,325
現金及び現金同等物の四半期末残高	※1 6,420,218	※1 6,813,884

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間（自平成23年10月1日 至平成24年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	ポータル 事業	モバイル 事業	ゲーム 事業	ライブ 事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	9,835,308	10,813,928	4,279,040	576,792	25,505,070	1,411,714	26,916,785	—	26,916,785
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	358,715	305	19,904	9,287	388,213	535,731	923,944	△923,944	—
計	10,194,024	10,814,234	4,298,945	586,080	25,893,284	1,947,445	27,840,730	△923,944	26,916,785
セグメント利益又は セグメント損失 (△)	735,275	1,913,126	366,860	△818,937	2,196,324	△261,994	1,934,330	△1,197,947	736,383

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、コンテンツ出資等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,197,947千円は、セグメント間取引消去221,581千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,419,529千円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自平成24年10月1日 至平成25年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	ポータル 事業	モバイル 事業	ゲーム 事業	ライブ 事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	11,361,857	10,252,760	2,718,150	986,753	25,319,522	1,235,823	26,555,345	—	26,555,345
セグメント間の内部売上高又は振替高	341,546	666	5,188	21,620	369,021	127,442	496,463	△496,463	—
計	11,703,403	10,253,427	2,723,339	1,008,373	25,688,543	1,363,265	27,051,809	△496,463	26,555,345
セグメント利益又はセグメント損失(△)	1,839,646	1,373,242	206,061	△301,681	3,117,268	△270,224	2,847,044	△964,182	1,882,861

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、コンテンツ出資等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△964,182千円は、セグメント間取引消去353,704千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,317,887千円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

（報告セグメントの利益または損失の測定方法の変更）

当社グループでは事業区分を明確化する組織再編を実施しており、業績管理体制の見直しを行いました。それに伴い、のれん償却額につきまして、前連結会計年度まで各報告セグメントに配賦してはおりませんが、第1四半期連結累計期間より「ポータル事業」に配賦する方法に変更しております。

この変更により、従来の方による場合と比べ、当第3四半期連結累計期間の「ポータル事業」のセグメント利益が203,598千円減少しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（のれんの金額の重要な変動）

当社グループでは事業区分を明確化する組織再編を実施しており、業績管理体制の見直しを行いました。それに伴い、のれんにつきまして、前連結会計年度まで「その他」に区分してはおりましたが、第1四半期連結累計期間より「ポータル事業」に区分する方法に変更しております。なお、当該事象による「ポータル事業」ののれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては841,793千円あります。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。